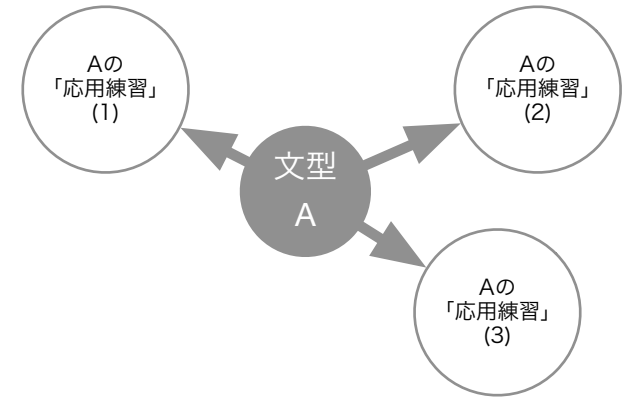


資料G: G to C と C to G

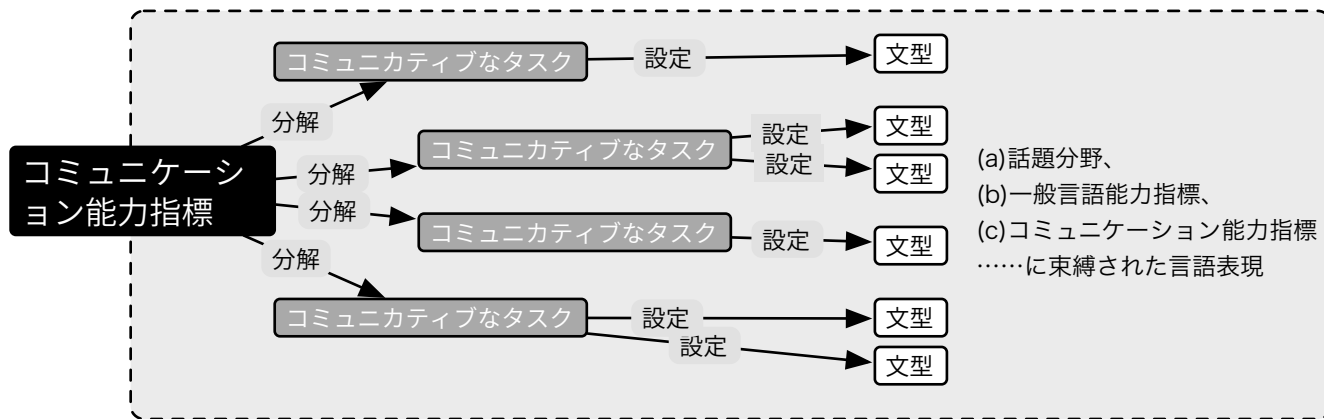
1. G to C (Grammar & Goi to Communication)

(1)今使っている教科書に基づいて語彙と文型を教え、(2)ドリル練習をしてから、(3)「コミュニケーションの練習」をしよう（語彙と文法を導入し、機械的なドリル式練習を経て、だんだんと〈使う練習〉へとシフトして行き、最後に、学習項目を使って〈ちょっとした会話〉（コミュニケーションの訓練のつもり）をするという手順）。

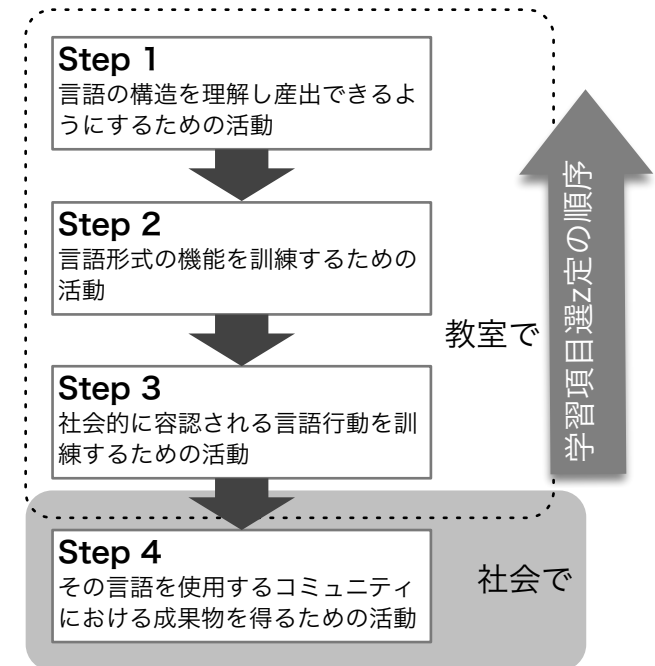
(1)は教科書の構造積み上げ型シラバスに則っていて、恣意的（自分で勝手に決めたもの）ではないかもしれない。その構造積み上げ型シラバスは、「初級者のための基本文型一覧表」の類に則っていて恣意（自分で勝手に決めたもの）的ではないかもしれない。しかし、(3)は恣意的（自分で勝手に決めたもの）になりはしないか？「教師が恣意的に選んでいませんか？」「他のクラスと全然ちがうことをやっていませんか？」「他の教師と共有できますか？」「なぜそれを選んだか説明できますか？」に答えられない。G to Cという方向は、より高次のステップに進めば進むほど、恣意的に「拡散」していく。



2. C to G (Communication to Grammar & Goi)



『めやす』モデル



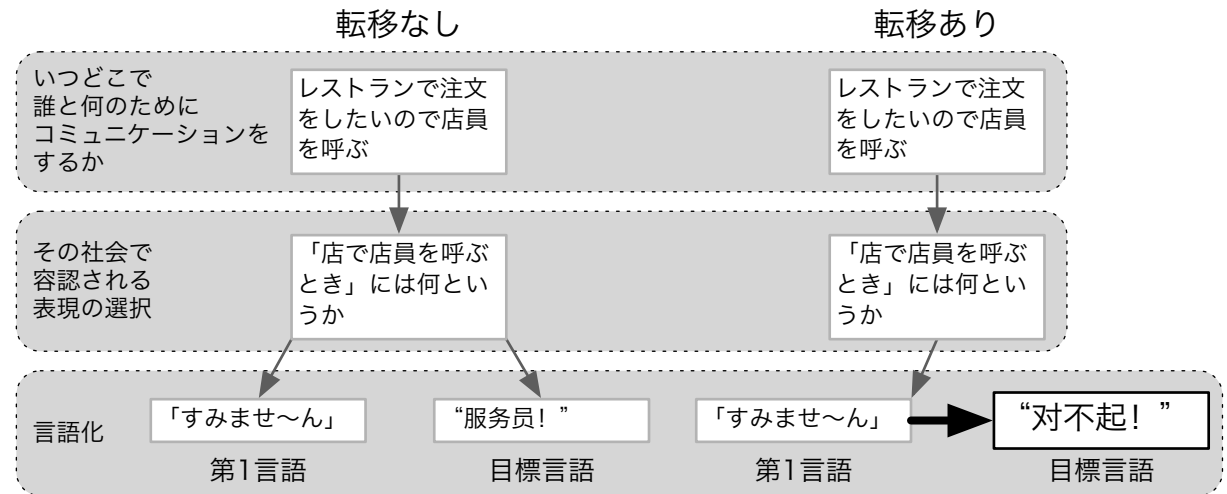
資料H: 語用論的転移の問題

語用言語学的転移

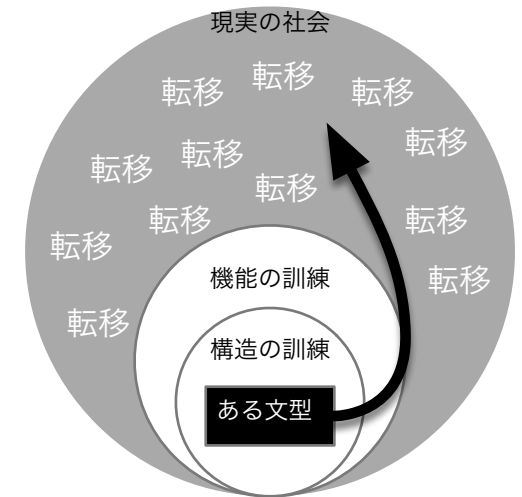
「L1の特定の言語的素材に割り当てられた発語内行為やポライトネスの価値が、学習者のL2での形式と機能のマッピングの認識や産出に影響する過程」

社会語用論的転移

「学習者のL2における言語行動の解釈や遂行の根底にある社会的認識が、それと主観的に対応するL1文脈の評価によって影響を受けたとき」に起こる転移



		(a) 母語			
		<モノ> !	<モノ> をください	<モノ> が欲しいんですけど	<モノ> を~したいんですけど
		(b) 目標言語			
場面	課題	?	?	?	?
レストランで、従業員に	メニューを要求				
	調味料や紙ナプキンを要求				
	箸や皿を要求				
商店で、従業員に	店に入ってすぐ買いたいものを告げる				
	買う商品を決定したことを告げる				



資料I: 文型リスト構築の手順

1. コミュニケーション能力指標をタスクに分解

指標：自分の好きな食べ物、嫌いな食べ物、食べられないものなど、料理名や食品名を、口頭で伝えることができる（話題領域：食、レベル1）

タスク：(1) 好きな／嫌いな食べ物・飲み物を伝える。(2) ふだんの生活で食べないものを伝える。(3) 何らかの理由で食べられないものを伝える。

『めやす』の指標は単純なゴールもあれば高次のゴールもある～**単純ゴール**：ex. 名前を伝える、**複合ゴール**：ex. 誕生日と年齢を伝える、ex. **高次ゴール**：自己紹介

2. タスクのモードの決定&言語表現の抽出

〈めやす〉の3モード	提示的コミュニケーション	解釈的コミュニケーション	対人的コミュニケーション
我々の文型リスト	伝える	理解する	やりとりする

タスク	モード	言語表現
何かの症状を呈している人に対し、薬を持っていると伝える	伝える	我有药。
症状を言って薬を持っていないか尋ねる／答える	やりとり	我感冒了，有没有药？一有。 / 对不起，没有。

3. 定項と変項の決定

変項の数	表現例（太字部分が変項）	文型
3	我在 大学 学 汉语 。	〈ヒト〉 在 〈 学ぶ場所 〉 学 〈 学ぶ対象 〉
2	我在 大学 学 汉语 。	我 在 〈 学ぶ場所 〉 学 〈 学ぶ対象 〉
1	我在 大学 学汉语。	我 在 〈 学ぶ場所 〉 学 汉语
0	我在大学学汉语。	我 在 大学 学 汉语

変項の数で難易度のコントロール
変項0=定型表現

4. 語彙リストの作成

文型	変項1に入る語彙の例	変項2に入る語彙の例
我 在 〈学ぶ場所=変項1〉 学 〈学ぶ対象=変項2〉	大学, 高中……	汉语, 英语, 数学……

5. 語用論的言語使用、社会言語学的視点

記述の例

1. (遊びに誘う) 誘った側が費用を負担することを期待される可能性がある。
2. “我们一起玩儿吧!” (いっしょに遊ぼう) という形を使うと、具体性に欠けるゆえに妙なニュアンスを伴うことがあるので、「何をして遊ぶか」を明示しないのであれば“出去玩儿”(遊びに出かける)としたほうが無難。“我们一起去玩儿吧!”(いっしょに遊びに行こうよ)だと先行する文脈に目的地が現れていることが必要。
3. (誘われた時) 断るときは“我有点事”(ちょっと用事が〜)だけだとそっけない感じがするので、具体的な理由も添えたほうがよい。日本では理由を詳しく説明すると言いつきに聞こえることもあるが、中国では詳しく説明するほうが礼儀にかなっている。
4. (年齢を聞く) 直截に年齢を聞くのではなく、生年を尋ねる方略もよく用いられる。同年輩同士ならこれがよい。
5. (年齢を聞く) 年齢を聞かれることを嫌がる人(特に女性)もいるので注意が必要。
6. (自己紹介をするという目的で) 干支まではふつう言わない。初対面で干支まで言えば、相手は笑ってくれるかもしれない。ただし日常的に干支が話題になることはある。
7. (自己紹介をするという目的で) “2+2”にならない日本人の姓名は、姓と名の切れ目を間違えられることも多いので、切れ目を示す表現をしたほうがよい。姓をフルネームと誤解されるのを防ぐためにもフルネームを名乗るほうがよい。
8. (家族構成を尋ねる) 社交的なやりとりで、ここまで尋ねることはふつうはしない。
9. (家族構成を尋ねる) 中国語の“兄弟”は兄と弟しか指さないので、「(日本語の)キョウダイはいるのか?」という意味の質問の場合は“有兄弟姐妹吗?”(兄弟姉妹はいますか?)という形になる。
10. 若い独身者(特に学生)などが“我家在~”(わたしの家は~にあります)を使うと、「今、住んでいるところ」ではなくて実家の位置を伝えているように聞こえる。
11. (電話番号を尋ねる/答える) 聞かれても相手に教えたくないときは、いろいろなストラテジーを駆使する必要がある。番号は伝えずに、とりあえずSNSで繋がることを提案するというのが無難な回避法であろう。
12. (住んでいるところが戸建てか集合住宅かを尋ねる) 集合住宅に住んでいるのか、戸建てに住んでいるのかを尋ねることは一般的な話題ではない。だいたい住んでいる地区を聞けば察しがつくという事情もある。「一戸建て」を簡潔に表現する日常的な用語も固定していない。ここでは聞く必要がある場合に備えて、「何階か」を尋ね、その回答によって居住形態を導き出すという方略を採用した。
13. (趣味) 相手が好きかと尋ねている場合、あからさまに“不喜欢”(嫌い)と答えるよりも、“不太喜欢”(あまり好きではない)と答えるほうがよい。また「好きではない」と答えるより「あまり~しない」と習慣の問題として答えるほうがより間接的。

資料J: 「文型」の例

変項が多い文型の例 (日常的な休み (週末、日曜など) に何をしているか尋ねる／答える。)

言語表現	周末	你	一般	做什么	？	—	周末	我	总是	睡觉	。
↓	週末	あなた	ふつう	何をする			週末	わたし	いつも	眠る	
文型	〈日常的な 休み〉	你	一般	做什么	？	—	〈日常的な 休み〉	我	〈頻度〉	〈余暇：～する〉	。

※ 「質問+回答」で1つの文型にしている……応答ではないと見られない言語現象や、談話構成もあるので

※ 「頻度」も含めて文型にしてしまうアイデアは却下された……

- 〈日常的な休み〉我总是 〈余暇：～する〉。 「いつも決まって」
- 〈日常的な休み〉我一般 〈余暇：～する〉。 「ふつう」
- 〈日常的な休み〉我常常 〈余暇：～する〉。 「よく、しょっちゅう」
- 〈日常的な休み〉我有时 〈余暇：～する〉。 「ときには」
- 〈日常的な休み〉我很少 〈余暇：～する〉。 「めったに～しない」

変項が少ない文型 (部屋の中にどのような家具や備品があるかを伝える。)

言語表現	房间里	有	一张	书桌	。
↓	部屋の中	ある	1つ	机	
文型	房间里	有	(〈数量〉)	〈家具・設備〉	。

言語表現	房间里	没有	厕所	。
↓	部屋の中	ない	トイレ	
文型	房间里	没有	〈家具・設備〉	。

資料K: 変項のラベルの例

1. 自分と身近な人々 (レベル1)	8. 趣味と遊び	6. 住まい
<ヒト> <ヒト：年配者> <家族> <家族：キョウダイ> <名前：フルネーム> <名前：苗字> <年齢> (※数+単位の形で提示) <エト> <日付：月日> <数> <数量> (※数+助数詞の形で提示) <電話番号> <メールアドレス> <SNS> <学校名> <地名> <学年> <趣味：～する>	<休み：日常的> <休み：季節的> <特定の日> <頻度> <場所> <余暇：～する> <趣味：～する> <スポーツ：～する> <スポーツ：観戦対象> <音楽：分類> <映画：分類> <図書：分類> <有名人：名前> <有名人：分類>	<ヒト> <部屋：名称> <数> <数量> (※数+助数詞の形で提示) <家具> <家具・設備> <居住形態> (※フレーズレベルの表現)

- ・ <●●：～する> は動詞句が要求されることを示す。
- ・ 固定的なフレーズを変項としてもよい。例えば、<居住形態> なら“住宿舍 (寮に住んでいる) / 在家住 ((親の) 家に住んでいる) / 租房子”
- ・ 待遇度の異なる表現は、「待遇度に関わる変項の違い」としてパターン化する。ex. <ヒト：年配者>

資料L: 特徴(1) 積極的に何かを誘導するタスク

(待遇度)

1. (社会人ではなさそうな相手に) 身分を尋ねる／答える。
2. (目上の相手に) 年齢を尋ねる／答える。

(談話の目的と構成)

3. 「自己紹介をする」という目的で自分の年齢、誕生日、干支を伝える。
4. 「自己紹介をする」という目的で名前を名乗る。

(現場指示)

5. メニューの中の欲しいものを指差し、必要量を言う。
6. 食べ物を指差し、それを食べるよう促す。
7. 人の写真などを指してそのかっこうに対する好評価 (かっこいい、似合っている、かわいい……) を伝える。
8. 電卓を指さし、値段を打ってくださいと頼む。

(サバイバル)

9. とにかく断る。
10. 物を指さして見せてくれと頼み、その諾否を聞いて理解する。
11. 公けの施設 (駅、空港、店など) の案内表示を見て、してよいことといけないことを理解する。〈理解する〉

(文化の解釈+サバイバル)

12. お店の看板を見て「食事ができるところ」を選び出す。
13. 与えられたメニューのなかでアルコール飲料とソフトドリンクを識別する。
14. 与えられたメニューのなかで肉料理、魚料理、豆腐料理、野菜料理などを識別する。

(方略的言語使用)

15. 症状を伝えて薬があるか尋ねる／答える。
16. 集合住宅の何階に家があるのかを尋ねることにより、集合住宅に住んでいるのか、戸建てに住んでいるのかを探る。
17. (つないでもらいたいという意図で) 話したい相手がいるか確認する。
18. 何をするのが好きか、例を挙げて尋ねる／答える。(※オープンクエスチョンでは答えを聞いても理解できないので)

(Audience Design)

19. 中国から日本に物を送れるように配慮して、日本の自分の住所をメモにして渡す。
20. 自分の住んでいる市町村の名前を知らないであろう相手にその名前を教える。

まとめ

(個人的に) ワクワクしていること

1. すべての「文型」が揃い、それを縦から横から分類したら、いったいどんなリストになるのか？いわゆる「初級文型一覧表」とはかなり異なったものになるはず
2. 変項の「ラベル」のリストはどのようなものになるのか？どのようなラベルが多用されるのか？どこまで具体化することが必要なのか？
3. すべての変項の語彙を集めたら、どのような語彙リストができるのか？あちこちの変項に頻出する語彙は何か？

我々の願い

1. **共有リソース化**：a) 同じ言語を教える教師間での共有リソース、b) 異なる言語間でもタスクは共有できる
2. **透明化と標準化**：a) 授業内容が見えやすくなり学習者の受け渡しが可能になる、b) 教師の能力に依存しない授業設計が可能になる
3. **言語間での対照研究の材料**：同じタスクを遂行するにあたって、言語間で共通することとしないこと
4. **フィードバック**：実際に使う言語項目まで確定する>タスクの適否の検討>コミュニケーション能力指標の再検討>『めやす』の改訂？

「コミュニケーション文法の確立と中国語教育の基盤の再設計」 (科研費基盤C, 25370669)

山崎直樹 (関西大学, ymzknk@kansai-u.ac.jp)

植村麻紀子 (神田外語大学)

鈴木慶夏 (釧路公立大学)

中西千香 (愛知県立大学)

西香織 (北九州市立大学)

最新情報：

「中国語コミュニケーション文法を考える」

<http://www2.itc.kansai-u.ac.jp/~ymzknk/kome/index.html>

